

## 会 議 録

会議の名称	(仮称) 那珂川市総合運動公園 第2回道善区地元説明会		
開催日時	平成30年12月9日(日) 18:00~18:30	開催場所	道善区公民館
出席者	1. 道善区民 21人 2. 執行部 教育部 三浦部長 運動公園整備推進室 後藤室長、眞鍋(翔)、山口係長、中村(清) 建設課 上溝課長 都市計画課 鶴田係長 産業課 藤野(尊)係長		
配布資料	別添のとおり		
内容	<p>1. 教育部長あいさつ</p> <p>2. (仮称) 那珂川市総合運動公園基本計画について            ①経過報告について            ②今後のスケジュールについて</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>参加者：計画地内は畑とか水田をつくってあるが、おおよそ何年まで作れそうか。          市：用地買収については説明のとおり来年度までの予定である。個別に地権者の皆さまへ説明となるが、まず、今年度契約する場合は、3月に引渡しとなるが、来年度契約する場合は再来年の3月に土地の引渡しを受けることとなる。普通、土地代については前金をお支払いして、土地の引渡しを受けた後に残りの残金を支払うこととなるため、耕作については来年度の契約になれば再来年度の3月までと考えている。</p> <p>参加者：2019年までは作れるということか。          市：そうである。</p> <p>参加者：前回の説明会の時に、一部反対者があるという風に聞いているが、反対者に対する解決はもう終わったのか。まだ続いているのか。          市：周辺の方々とのお話というのは、現在も続けている。ただ、少しずつ理解をさせていただいているところがある。いま、一番ご不安に思われている点が、工事の場面、その後の運営に関するというようなところである。そういったところは、現在わかっているところは説明しているが、これから先の設計や色々な部分で検討していく段階においてはその意見も含めて検討したものをまたお話しをさせていただくというところでご理解をいただいている。</p> <p>参加者：あれは賛成か反対かわからないが、●●というのがある。あそこが私は一番大変と思っている。どのような状況か。彼が説明会の時に自分の会社の移転</p>		

先を確保しなければ賛成できんということを盛んに言っていた。その後、どうなったのか。

市：その後、一番初めにうちに来てくれという話をいただいている。やはり事業所様であるため、移転先が決まらなるとこれは動こうにも動けないということもあるため、その用地であるとか、そういったご相談には一番初めに来てくれ、それからきちんと話そうということでお互い話をしているところである。

参加者：今、移転先を探しているということか。

市：●●さんはもうすぐしたら補償金の算定が出てくるため、境界立会をしてそれから補償調査もさせていただいたが、今から代替地を見つけられるような努力もしたいし、当然代替地が見つかったからの契約になると思うので、全力を尽くして協力したいと考えている。実際、●●さんも移転先を探されているのは間違いない。

参加者：今からということか、了解した。

参加者：今説明を受けたが、前回の説明会の時にも話をしたが、この公園に行くアクセスはどう計画されているか。

市：アクセスについては、現在県道があり、市民体育館に入っていく町道があるが、ここから入っていくことを考えている。

参加者：そうすると、恵子道善の土地区画整理との協議はされているか。

市：当初はこのアクセスの計画を考えていたが、新市街地、都市計画課との協議を行った段階で私たちもアクセス道については国道から入ってくる新市街地を通ったアクセス道もひとつ考えられるのではないかとということで検討のひとつとして考えている。新市街地の進捗にあわせて、国道からのアクセス道ができた場合については、山であるとか、色々な場所があるが、どこかのアクセス道を新設したいなと考えている。

参加者：役所の一番悪いところは、横のつながりがない。そこをうまくやってくださいよと言いたい。

市：了解した。

参加者：どこも一緒である。全然課が違くと話をしない。そこの弊害がどこでも出ている。それと、雨水排水計画はどうされているか。

市：まだ具体的なものまで行っていないが、この都市計画審議会の中でも雨水についてはきちんと対応するよという風に言われている。今後、水利権者の皆さまと話をしながら協議を進めていきたいと考えている。

参加者：それで私が言いたいのは、ここの田んぼの水はどこからとっているかわかっているか。計画地内の田んぼの水は、池が3つある。恵子や道善はそこから賄っている。そのほかにもあるが、把握されているか。そういうところを把握してほしい。そうしないと、さあ工事に入りました、そちらのあたりまで影響しますよと。だからそういうところを全然考えなしに、該当地域だけのことだけでは済まない。それと、その雨水の排水を十分に考慮してということだが、昔はそこが非常に低いところであった。大体池のある山から6mくらい下がった土地である。雨が降ると、そこが保水地になっていた。今回埋

めると思うが、埋めたらまともに排水すると言ったら、今度の区画整理事業地にどっと流れてくる。ということは、その区画整理の所に水路を大きくして那珂川に持って行かないと大変なことになる。最近では50年に一度の雨が毎年来ている。みんな言う、50年に一度、50年に一度と。そういうことで被害を受けているのが、朝倉もそうである。私も現地に行ったが、筑後川はどうもなっていない。支流がどこもやられている。あれの原因を把握して、そういうところに影響が出ないようにということをお願いしたい。そういうところが網羅されるようにしてもらわないと、何のためにこうやって集まっているのかちゃんと理解して欲しい。これは、貴重な意見である。私はその近くに住んでいた。体育施設ができて困る、道路が混む、それで道善の人が迷惑に思う、なんだったんだ、できない方が良かったということにならないようにお願いする。

市：了解した。

参加者：道路の関係で、営業所から体育館に通す道をつくるということだが、ここを通すということか。

市：どこになるかはわからないが、新市街地の計画が固まった時点で私たちとしては連携をとって、どこにアクセス道路ができるのかということを検討していきたいということである。

参加者：了解した。ここへ通すという話を私今日初めて聞いたので、びっくりした。

参加者：おそらく、あの地域は運動公園をつくるだけではなくて、どこの土木工事でもいろいろあっているが、今年もゴルフ場の近くで那珂川の人が被害を受けた。その上の方でも被害を受けた。調整池は考えておかないといけない。

参加者：スケジュールの件であるが道善区の区画整理の進捗状況によると思うが、いますでに2018年度である。2019年に用地の相談をして、埋蔵文化財、基本・実施設計等が2020年度となっているが、さっき言われた区画整理と連携をとって道を検討したいとのことだが、道善の区画整理がその1、2年で終わるはずがない。となると、この計画自体が前倒し状態である。そのあたりはどのように考えられているか。

市：新市街地構想が明らかになっていく段階において、ひとつひとつその検討をしていきたいと考えている。確かにこちらの方が先に開園という形になるかもしれないが、その市街地の街並み等が決定していく中において、その時にどういったことができるのか、アクセスについては考えていきたい。

参加者：交通アクセスは体育館の横を検討されているが、万が一の時は山を通すかもしれないというような案があるということか。

市：可能性の問題だと思う。

参加者：ただあそこも曲がっている。西鉄バスの営業所からは。どうしても家に掛かってくる、まっすぐ入れようと思ったら。その辺は区画整理組合の方でも減歩してでも道をつくるなりしないと区画整理が終わらない。となると、2、3年でできる問題ではないので、2024年が運営開始予定ではあると思うが、渋滞が起きるとか、逆にどんどん苦情が来ると思う、区画整理が終わってなくて道ができていない状態では。そこは懸念するところではある。

市：今後も都市計画課と連携をとって、情報収集に努めながら進めていきたい。  
参加者：特に道善は今度やるから、区画整理を。連絡は密にとってもらいたい。  
市：了解した。